



# HCD-Net 2024年度事業計画



## ◆ HCD-Netのミッション

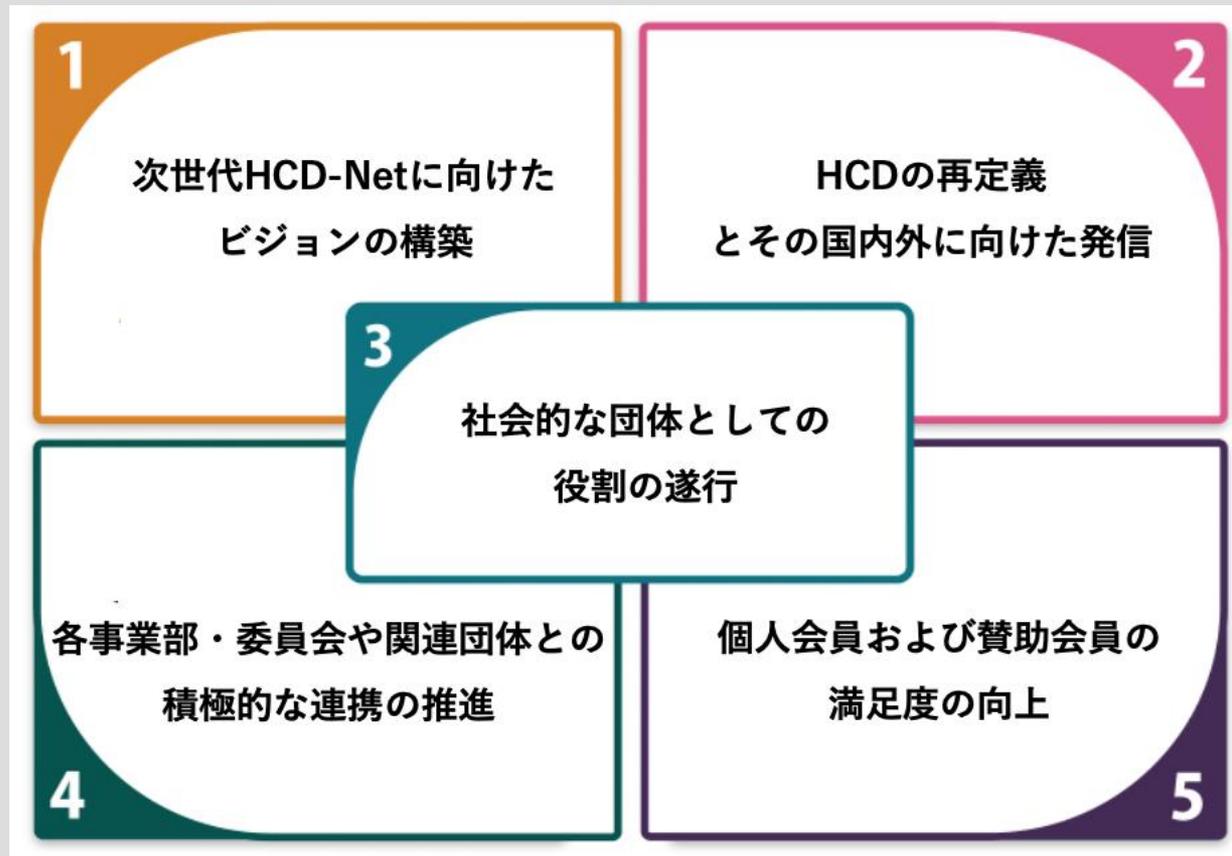
人間中心設計に関する学際的な知識や経験を集め、産学を超えた人間尊重の英知を束ね、人間中心設計導入に関する様々な知識や方法を適切に提供する。

- **多くの人々が便利に快適に暮らせる社会作りへの貢献**
- **経済の発展への寄与**
- **豊かでストレスのない実りある社会の実現**

## ◆ 中期目標（2023-2025）

- **1. 次世代HCD-Netに向けたビジョンの構築**
- **2. HCDの再定義とその国内外に向けた発信**
- **3. 社会的な団体としての役割の遂行**
- **4. 各事業部・委員会や関連団体との積極的な連携の推進**
- **5. 個人会員および賛助会員の満足度の向上**

## 中期目標 (2023-2025)



## 2024年度の重点目標（中期目標からの具体策）

### ● 1. 次世代HCD-Netに向けたビジョンの構築

- ・ HCD-Netフォーラムの年次大会としての実施（研究発表会との併催）
- ・ 広報活動（イベント, Web, SNS）の基盤整備と研究活動（投稿・掲載論文, 発表論文, SIG活動）の活性化
- ・ 20周年（2025年度）に向けた次世代HCD-Netのビジョン構築と諸活動の計画

### ● 2. HCDの再定義とその国内外に向けた発信

- ・ 非専門家のためのHCD基礎検定（旧HCD基礎知識体系）との積極的な連携と情報発信
- ・ HCD倫理綱領の確立と幅広い領域に向けた情報発信
- ・ 行政・自治体からの公的な認知と法的な保護の獲得（認定事業および倫理綱領の公的なオーソライズ等）

### ● 3. 社会的な団体としての役割の遂行

- ・ 地方に向けた活動への注力（関西・東海の活性化とその他地域の開拓）
- ・ 学び合うしくみづくりなど教育機会の提供と各種業界を支えるエキスパートの交流促進
- ・ 従来からの事業活動の安定的な継続と発展的な活動・取組への注力

### ● 4. 各事業部・委員会や関連団体との積極的な連携の推進

- ・ 事務局の補強・強化と各事業部への支援体制の確立
- ・ 各事業部の活動を担う主力メンバーの補強、評議委員の活動の明確化と活性化
- ・ 関連団体（ex. 組込みシステム技術協会(JASA), 各種学会）や行政・自治体との積極的な連携

### ● 5. 個人会員および賛助会員の満足度の向上

- ・ HCD専門家認定者の受験者数の健全な拡充
- ・ HCD正会員のメリットの検討・実施、学生の参加に向けた検討
- ・ HCD賛助会員の現況把握と賛助会員メリットの検討・実施

# 部門別の事業計画

## 2024年度の重点方針と重点実施項目

### 研究事業部

---

#### 2024年度重点方針

- 機構誌への投稿論文数と掲載論文数の増加および掲載論文の質向上を図る
- 研究発表会における発表論文件数の増加を図る
- SIG活動の活性化とSIG活動の成果の発信を図る
- 研究事業部の組織強化を図る

#### 2024年度の重点実施項目と目標

- 2023年度目標がもう少しで未達だったので、2024年度も昨年度と同水準目標の「達成」を目指す。
- メンター制度の試行（目標：とくに実践論文の執筆者を対象として、執筆力に欠けるために論文として掲載が適わない論文に対して、執筆のサポートを行う制度を試行し、制度化を目指す）
- 前年度同様研究発表会を年2回開催するとともに、年間発表件数を50件に増加させる（2023年度47件、2022年度42件、2021年度42件、2020年度35件）。
- 昨年度同様機構誌を年2回発行し、掲載論文数を10編（2023年度・年2回発行、掲載5編、2022年度・年2回発行、掲載8編、2021年度・年2回発行、掲載8編（追悼記事を除く））に増加させる。HCD-Net 内の活動（他の事業部など）の成果の投稿も促す。
- 既設のSIGは全て2023年度で終了するため、SIG活動の支援方策を立案するとともに、新規SIGの募集を行う（2024年度1SIG立ち上げ）。
- 研究事業部の活動の中心となるべく新たなメンバーをリクルートする。

## 2024年度の重点方針と重点実施項目

### 教育事業部

---

#### 2024年度重点方針

- ◆ HCDに関する知識・学習体験の継続的提供と学習領域の拡張
- ◆ 学習プログラムの体系化に向けての準備

#### 2024年度の重点実施項目と目標

- ◆ 学び合うしくみづくり
  - 受講者がお互いから学べるしくみを検討（対話型イベントの開催など含む）
- ◆ HCDに関する知識・学習体験の継続的提供と学習領域の拡張
  - HCD学習の基盤となるような定番講座の継続開講（運営の安定化）
  - 新しい領域・切り口の学習コンテンツを増やす
    - 現場でのHCD実践に即効性のあるものや、組織活性・HCD人材育成に資するものなど。デザイン方法論・スキル習得から範囲を広げる

中期計画（2023～2025年度）

## 教育事業部

### 重点方針

- ◆ HCDに関する知識の継続的提供
- ◆ オンラインセミナーの活用で学習機会の拡大
- ◆ 地域の状況に応じたセミナー、イベントの企画・運営・サポート



### 重点実施項目と目標

1. HCD入門セミナーの定期開催のために、実施方法を手順化する
  2. UXデザイン連続セミナーをいろいろな講師が実施できるようにするために、講座の「エッセンス」を明確にする（教材&手引書のようなもの？）
1. オンラインセミナー継続実施のために、提供プラットフォームなどを含めて実施方法を手順化する
1. 東海支部独立運営（2021年度）のためのサポート（2022年度）
  2. 関西・東海以外の地域拠点でのHCD普及活動の定常化（2022年度）



## 2024年度の重点方針と重点実施項目

# 広報社会化事業部

- 活動スタンス
  - 今年度中に組織の整備と活動のベースを基盤を整える。
  - 広報＝HCD-Netの横断活動と位置付ける。
  - 全体の活動を俯瞰して把握し、各事業の活動を発信するサポートを行う。
- 具体的な施策
  - ①ルーチン業務：重要度（高）
    - 定期的なニュースレターの発行。
    - [アニュアルレポートの制作・発行①](#)
  - ②組織の整理：重要度（高）
    - Award、アニュアルレポート、フォーラムのメンバー安定化／固定化を目指す。
      - 現状関わっているスタッフ名簿を作成する。
      - リソースが不足している部門のスタッフを募集する。
    - Webワーキングとの連携内容と連携方法の検討。
  - ③活動方針の整理：重要度（高）
    - HCD-Netフォーラム：フォーラムの方針、フォーラムにおける広報社会化事業部の役割を決める。
    - サロンの運営方針；サロン＝HCD-Net横断的な活動にする（案）理事会で議論して方向性を決める。
    - 領域拡大：会員向け広報とバランスを取りつつ、領域を拡大する；教育業界との連携にトライする。
  - ④SNSの整備：Web WGと連携して推進：重要度（高）
    - SNS；FB、X、ウェブ、Slack、Note（今後利用予定）の役割を整理する。
    - 利用していないツール（例：利用していないSlackチャンネル）は整理する。
  - ⑤会員向け広報としての新規活動：重要度（中）
    - [フォーラムでの活動報告セッション開催：アニュアルレポートをベースに活動報告（登壇者を募る）②](#)
  - ⑥組織外向け広報：重要度（中）
    - [パンフレットのリニューアル③](#)
    - [HCD-Net活動の記事化：Award受賞者の活動発信④、サロン+サロンレポート×4⑤](#)
    - [フォーラムの広報：事前告知（ティザーサイト制作）⑥+開催レポート（記事作成）⑦](#)

## 2024年度の重点方針と重点実施項目

# ビジネス支援事業部

## 重点方針

- ◆ HCDマネジメント-社会実装、専門家のスキルを発揮できる環境作り、HCDツールの提供

## 重点実施項目と目標

### ◆ 運営委員会

- ・ HCDビジネスシンポジウムの開催1回、CEATEC2024、EdgeTech+事業への参画  
(HCアーキテクチャーの構築・理論化を通じた委員会間の連携強化)

### ◆ HCDマインドセット醸成委員会

- ・ 人間中心のデザインマネジメント啓発、導入、推進 ・ スキルセットとマインドセットのワークショップ開催1回

### ◆ HCD導入パターン委員会（仮称）

- ・ 有料イベント開催2回、HCD導入パターン第二版公開、HCD研究発表会にて活動発表1回

### ◆ 自動運転社会におけるHAII検討委員会

- ・ 第1期活動課題の体系的理解と解決のアプローチ探索、ガイドライン/標準化推進  
・ 2024年度成果報告イベント開催1回

### ◆ 「利用時品質」普及委員会

- ・ 利用品質メトリクス開発ワークショップの開催1回、利用時品質談話会の開催2回  
・ 東海大辛島研究室での利用時品質計測の実施15回 ・ ISO/JIS規格関連セミナーの開催4回  
・ 委員会活動10周年記念イベントの開催1回

### ◆ HCSA委員会

- ・ 海外で開発されているツールを利用したデジタルソリューションについての議論、  
ワークショップの開催1回

# ビジネス支援事業部 中期計画II (2023~2025 活動スキーム)

専門家のスキルを発揮できるビジネス環境/市場創成  
 HCDビジネスシンポジウムでの情報発信

## HCDマネジメント

HCD啓発、導入、推進

### HCDマインドセット

#### 醸成委員会 (総論)

人間中心のデザインマネジメント啓発  
組織導入推進

#### HCD&OS共創プロジェクト

#### HCD導入パターン委員会 (仮称) (各論)

パターンランゲージを用いたHCDの組織導入 HCD組織成熟度との関連付け

- ・カードゲーム化、書籍化



## HCアーキテクチャ構築/理論化

人間中心の社会を目指す

### 利用の観点からの全体構造とは何か

他のアーキテクチャとの関係性  
 DADCとの連携について  
 取り扱うスコープについて  
 (広い1軸⇔狭い3軸)  
 意味軸/時間軸/空間軸の考察  
 拡張/展開方法

### 構成要素の抽出、構成要素間をつなぐ

構成要素のリスト化/汎化/対象  
 つなぐ基準、制約、禁止

### 専門性ノウハウのマネジメント

適用基準、連携基準、相反対策



## HCプロセス

人間中心のシステム開発推進

### HCSA委員会

HCSAの社会実装  
 境町・みなとみらいMaaSの議論

### 「利用時品質」普及委員会

利用時品質+CIF  
 人間中心設計の最新国際規格

### 自動運転社会における

#### HAII検討委員会

AIと人の関係考察 外向けHMI検討

### “地域DX”コンソーシアム

境町でのMaaSの社会実装

## ツール開発・提供 ワークショップ・セミナー企画/運営

- ・ビジネス成功事例研究/書籍化
- ・CIFの普及促進ツール
- ・利用品質メトリクス
- ・カードゲーム Morris の利用拡大
- ・Digital Ethics Compass

- ・HCD導入パターン
- ・各種ガイドライン化
- ・新たな国際規格化
- ・オンデマンド教材開発

- ビジネス支援の情報発信
  - ・HCDビジネスシンポジウム
  - ・EdgeTech+事業
- 各セミナー/ワークショップ企画/運営 (広報、保守、販売、スポンサー探し)
  - ・利用品質メトリクス開発ワークショップ
  - ・Usability/HCD関連セミナー

2024年度

# 専門資格認定センター

---

## 重点方針

- 認定試験の拡大と安定運用
- 更新審査の安定運用
- HCD基礎検定との協力体制の確立

## 重点実施項目と目標

- 更新人数の増加を受け、更新制度の審査員を公募制度にする
- 新メンバーを募って活動の安定化、負荷の分散をする
- 運營業務のシステム化を図り、効率化する
- コンピタンスマップへHCD基礎検定で得た知見をフィードバックする

## 重点方針と重点実施項目

### 関西支部

#### 2024年度重点方針

- ◆実践に役立つイベントを開催する
  - ・参加比率の高いメーカーエンジニアをメインターゲットとする
  - ・KJ法などのプリミティブな学びを得られるようにする
  - ・実践事例を共有することにより、さらなる実践数の増加を図る
- ◆実践数を増加させる土台として参加者の裾野を広げる
  - ・幅の広いテーマによる関西フォーラムの開催
  - ・参加しやすい無料イベントの開催
  - ・学会発表等による啓発活動の実施
  - ・これまで関係の無かった業界や分野での啓発活動の実施
- ◆未来を見据えコミュニティを広げる
  - ・首都圏以外の地方（特に九州・沖縄エリア）でのイベントの開催
  - ・子供向けイベントの開催

#### 2023～2025年度中期方針

- ◆地方で独自で活動できる拠点（特に九州・沖縄エリア）を作り、HCD導入を促進する

## 2024年度の重点方針と重点実施項目

### 東海支部

---

#### 2024年度重点方針

- ◆ 東海地区にニーズにあったセミナー・イベントの実施
- ◆ 運営メンバー、参加者とのHCD実践情報共有の活性化

#### 2024年度の重点実施項目と目標

- ◆ 東海支部独立運営を記念したイベントの開催
- ◆ 交流イベントを開催し東海地区のニーズを把握
- ◆ HCD実践情報を共有できる活動の検討

2024年度の重点方針と重点実施項目

## ウェブワーキンググループ

---

### 重点方針

- ウェブサイトの運用の安定化をする
- 時代にあったソーシャルメディア運用をする

### 重点実施項目と目標

- 技術がわかる人材の安定的な確保が難しいため、HCD-Netのウェブサイトを「事務局のみ」で運用できる基盤システムへ移行する
- 新メンバーを加えて活動の安定化、負荷の分散をする
- 広報社会化事業部との連携を深め、一体として運営を進める

2024年度の重点方針と重点実施項目

## HCD倫理規定検討ワーキンググループ

---

### 重点方針

- HCD倫理規定の展開：
- HCD-Netとしての倫理活動方針の策定と実施

### 重点実施項目と目標

- FY20-21にて策定した倫理規定を業界及び一般に広報・展開
- 事業者・エージェンシーによる実践へ向けての議論
- メディアを通じた社会への発信
- 一般、関連団体、学協会、大学への広報
- 国際的な展開
- 上記に関するイベントの開催
- 委員会への移行検討とSIG活動立上げ検討

## 2024年度の重点方針と重点実施項目

### 事務局

---

#### 2024年度重点方針

- ・各部門の諸活動を支え、安定的な支援を実施するとともに、会員の皆さまの満足度向上に繋がる対策や体制を構築する。

#### 2024年度の重点実施項目と目標

- ①個人情報保護法に沿った運営体制の明示と遂行を継続して実施する。
- ②管理業務および諸活動サポート業務のマニュアル化促進を継続する。
- ③各部門の課題・要望を把握、共有し、円滑な運営に繋げる。
- ④会員および資格保持者増加に伴うインフラ整備と体制強化の具体策を検討する。
- ⑤会員満足度調査及び満足度向上に伴う具体策を検討する。
- ⑥中期計画2年目、20周年プロジェクトに向けて支援する。